

旧早良郡の今昔



遥かに脊振山系を臨む内野村付近★ 昭和29年

大正時代に書かれた地誌『早良郡志』によると、10世紀初頭に記された書物の中に「早良（佐波良）」の名が載っているとあります。「早良」の名称は、古来この地に縁があった「早良臣（さわらのおみ）」に由来するという説や、周辺の気候にちなんで「さわらぐ（乾燥する）」から転じたとする説などがあります。

明治29年の郡制施行で、東は鳥飼村や樋井川村、西は姪浜町や残島村（能古島）までの町村を早良郡とし、郡庁を西新町に置いていました。大正・昭和に入って、郡内の各町村は市域に次々と編入。昭和47年、本市が政令指定都市に昇格した時に発足した西区は早良郡早良町を昭和50年に編入し、早良郡は消滅します。その後、昭和57年に旧西区を3つの区に分割し、区名に「早良」の名が復活したのです。



早良中学校と背後に広がる馬立山 昭和52年



現在の早良中学校と早良ニュータウン



荒平山のふもとでの野良仕事★ 昭和31年



荒平山の麓に広がる田園風景



椎原での温泉ポーリング★ 昭和34年



椎原の温泉割烹みはる荘